

## 分節的な焼灼による上大静脈隔離の安全性及び有用性の検討

### 1. 研究の対象

2018年6月から2019年6月にかけて当院で初回の高周波を用いた心房細動アブレーション治療を行った患者さんのうち、肺静脈隔離術及び上大静脈隔離を施行した方

### 2. 研究目的・方法

現在高周波心房細動アブレーション治療を行う患者において、肺静脈隔離術を標準的な治療として行っておりますが、それは心房細動の起源・維持が肺静脈内に大きく起因するためと言われているためです。ただ、他にも上大静脈起源の心房細動も少なくないことが報告されていることから、当院では上大静脈に電位をしっかりと認める場合には上大静脈隔離まで施行しています。その際に近傍を走行している横隔神経を障害するリスクがあるため、事前に電氣的刺激を加え横隔神経に近い部位を評価した上で焼灼します。ただ、その部位を焼灼しなくても電氣的な隔離が得られることもあるため、全周性に焼灼した場合としなかった場合で同等の成績が得られるのか、安全性に関しては問題ないかを比較検討します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

治療に関するデータ（上大静脈隔離で横隔膜攣縮部位の焼灼有無、横隔神経麻痺の有無）とその後の再発率の差

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

濟生会熊本病院 循環器内科 研究責任者 金子祥三

住所 熊本市南区近見5丁目3番1号

電話番号 096-351-8000（研究責任者）

以上